

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.827
2019.2.3

発行

日本共産党さいたま市議会議員団
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
http://www.jcp-saitama.jp/山崎 あきら
神田よしゆき
戸島 よし子
とりうみ敏行久保 みき
もりや千津子
松村 としお
大木 学2019年度
予算要望に
市が回答

ひとつでも多く 市民要望の実現を

2019年度予算編成にあたって、昨年11月に党市議団が提出した767項目にわたる予算要望に対し、1月29日、清水勇人市長から回答がありました。

はじめに市長から来年度の一般会計予算規模について「一般会計の予算規模は、昨年度より23億円増の5568億円、特別会計予

算総額は3118億円、企業会計予算総額は、1380億円。全会計予算総額は1兆66億円で本市誕生以来最大の予算規模となった」と説明がありました。

党市議団の予算要望に対する市の回答として、障害者グループホームへの市独自の運営・整備費補助を創設については、「2019年度は看護職員等を加配する事業所に対し、人件費の一部を補助する」としてグループホーム運営費補助事業1603万円の予算が計上さ



あいさつする山崎市議団長

れました。また、体調不良児・病児・病後児保育を全行政区への整備については「2018年度は北区の設置において協議を進めている」と回答がありました。

高齢化社会の到来に対応するため、福祉型の交通手段を図ることについては、「2019年度は、日常生活に必要な買い物や通院等の移動が困難な高齢者などの外出を支援するための移動支援に係るモデル事業に着手する」として180万円の予算が計上されました。

2月議会

国保税や消費税10%にともなう 上・下水道の使用料等の値上げ案が

2月議会が2月6日からはじまりました。新年度予算案をはじめ、国民健康保険税の値上げ条例案や10月からの消費税10%引き上げにともなう、上・下水道等の使用料、公共施設の利用料金、手数料等の引き上げ条例案など69件（予算議案32件、条例議案18件、一般議案7件ほか）の議案が提出されました。

予算規模は1兆66億円

新年度予算案では、予算総額1兆66億円と過去最大規模となっています。新

規事業では、党市議団が要望していた障害者グループホームの運営費補助や、地震で倒壊のおそれのあるブロック塀を改修するための助成制度の創設、高齢者等の外出を支援するための移動支援事業（モデル事業）の実施などの予算が計上されています。

国民健康保険税の値上げ条例案では、均等割りで800円、所得割で0.16%の値上げ、また課税限度額では89万円から93万円に引き上げられています。

党市議団として、今後の審議を通じて、市政の果たすべき役割について追及していきます。

入り口が1階にない公民館への早急なエレベーター設置については、「2階が入口となっている3館（六辻・大久保・岩槻本町公民館）については、2018年度において六辻公民館のエレベーター設置工事基本設計業務、用地測定業務等を実施しており、他の2館についても2019年度以降速やかにエレベーター設置に向けた設計等を実施していく」として2285万円の予算が計上されています。

これらは予算規模や制度設計としては不十分さが否めませんが、市民のみなさんの草の根の要求運動と党市議団の議会論戦で前進した重要な一歩です。

山崎あきら市議団長は、「新年度予算がはじめて1兆円を超える予算規模になった。これから2月議会で中身も含めて論戦をおこなう。1つでも多く市民の要望を実現できるよう、党市議団としてがんばっていきたい」と述べました。

市民の権利と自由 さらに確かなものに

「九条俳句」報告市民集会

「九条俳句」不掲載訴訟で「不掲載は違法」とした高裁判決が確定したことを受け、1月28日、勝利報告集会が開かれました。党市議団からもりや千津子市議が参加しました。

冒頭、訴訟弁護団長は「この判決については模範六法にも紹介され、憲法をめぐる重要判決として憲法を学ぶ学生たちに伝えられていく。市民の権利と自由がさらに一歩確かなものとなった」と述べました。参加者のよるこびの発言が相次ぎ、もりや市議も「党市議団として、くり返し議会で質問してきた。作



報告する弁護団

者の粘り強いたたかいと市民の共同の運動の成果」と発言しました。

最後に作者が「みなさんのおかげで勝利できた。長い間お蔵入りになっていた俳句がようやく日の目を見る。本当によかった」と話しました。なお、1月30日、教育長が作者に謝罪をおこない、2月の三橋公民館だより

西区 深刻な水害被害 早急な改善を求める

2月1日、西区の水害をなくす会のみなさんが、水害が激しい地域の改善を求める要望書を692筆の署名を添えて市に提出しました。この要請には、党市議団から久保みき市議が同席しました。

西区は新興住宅街が増え、水はけが悪くなったことから、数十年近く毎年のように水害が発生し、住民からも市に改善要求が多く出されています。要請では、4つの地域の住民から冠水時の被害の実態が述べられました。「トイレから下水が逆流してくる」「用水路に気づかず落ちて胸まで浸かった」「雨が降る



要請に同席する久保市議（前列右端）

と夜も眠れない。出勤も困難になる」「障害のある子どもが帰宅できず、水が引くまで支援施設に待機させてもらった」「床下浸水は頻繁に起きる。土嚢が配られるが高齢者には大変」など、深刻な状況が語られました。

対応した担当課は、「しっかりと予算を確保することが必要。現地を確認し、できることからとりくみたい」と答えました。党市議団は、一刻も早い解決を求めています。

美しい 辺野古の海を壊すな 土砂投入は中止すべき

2月議会に、「沖縄県名護市辺野古埋め立ての土砂投入中止を求める意見書提出に関する請願」が出され、党市議団が紹介議員になりました。

昨年「辺野古新基地建設反対」を掲げた玉城デニー知事が相手候補に8万票の大差をつけて圧勝したにもかかわらず、政府は辺野古の海に土砂を投入し、埋め立てをはじめました。

請願は、「辺野古新基地が予定されている海は、海洋生物レッドリストに分類される貴重なサンゴ、絶滅危惧種の海藻、天然記念物のジュゴンが生息し、土砂投入は取り返しのつかない環境破壊で、許されない」と述べています。また、埋め立て予定区域には軟弱地盤、活断層もあり工事が完成する見通しがもてないことや、県の埋め立て承認撤回に対して国が



沖縄県名護市で現地の方から話を聞く久保市議

決定した撤回効力の停止について、県が国地方係争処理委員会へ審査を申し出ていることをあげ、その判断を待たず政府が土砂投入することは民意を踏みにじり、地方自治を否定するもので見過ごせないとして、さいたま市議会に土砂投入中止を求める意見書を国に提出するよう求めています。

久保みき市議は2月3日、沖縄県名護市辺野古の現場を訪れ、新基地建設反対の座り込みをしている現地の方の話を聞きました。久保市議は「美しい辺野古の海、自然を壊すことは許されない。ただちに土砂投入を中止してほしい。党市議団として請願採択に向けて、全力をあげたい」と話しています。

あなたの身近な議員です



市議(中央区)



市議(北区)



市議(見沼区)



市議(浦和区)



市議(桜区)



市議(南区)



市議(緑区)



市議(岩槻区)

山崎あきら 神田よしゆき 戸島よし子 とりうみ敏行 久保 みき もりや千津子 松村としお 大木 学